国立大学法人 岩手大学
工学部 機械システム工学科様

「JDreamⅡ」のご紹介

平成21年6月26日

独立行政法人 科学技術振興機構
情報提供部 営業推進課

CopyRight (C) JST

製作：落合　圭（JST東日本支所）

1．JDreamⅡの概要

CopyRight (C) JST

JDream Ⅱは、お手元のパソコン上で、簡単に素早く閲覧できる科学技術文献の巨大な図書館機能です。

1．科学技術の全分野を網羅的に収集しています

○ **国内外の科学技術分野**の資料として、科学技術系のジャーナル、学会誌、協会誌等

2．JDream Ⅱは莫大なデータを搭載しています

○ 収録記事は、**4,800万件以上**（**日本最大**の科学技術文献検索システム）

○ 外国語の論文も**日本語**で**抄録・索引**がついています

3．我が国で最もよく利用されている科学技術文献検索サービスです

利用の多いサービスシステム上位5位 （電子情報サービス2007データベース白書改題−経済産業省監修より）
1．COSMOSNET（帝国データバンク）
2.日経テレコン21（日本経済新聞社）
3．JDream Ⅱ（科学技術振興機構）
4．PATOLIS（パトリス）
5．TSR-VAN2（東京商工リサーチ）

CopyRight (C) JST

検索ガイドP．5参照

JST文献データの収録方針と件数

【収録方針】

- 国内の定期刊行物については以下の条件に該当する資料を網羅的に収集
  - ・一部分野（数学、心理学、教育等）を除く科学技術の全分野を対象
  - ・学術誌・学会誌、研究報告・技術報告、会議論文集、実用誌・解説誌　会議要旨集等（ただし、国内学位論文集は対象外としています）

- 海外の定期刊行物については以下の方針に従い収録誌を選定
  - ・臨床医学分野及び一部分野（数学、心理学、教育等）を除く科学技術の全分野を対象
  - ・利用ニーズの高い分野から選定（基礎科学、ライフサイエンス分野はImpactFactor等の指標も参考に選定）
  - ・工学分野、農学分野は特に利用ニーズの高い分野から選定。
  - ・日本人の研究成果が比較的収録されている雑誌を選定。

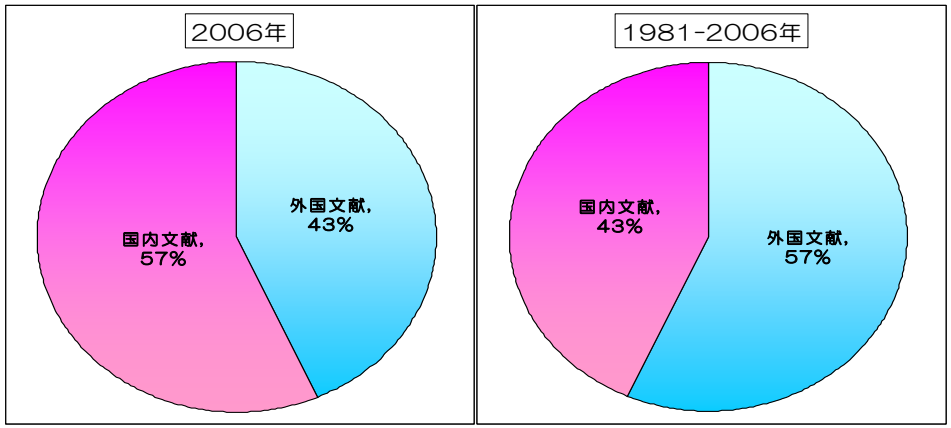
- 不定期刊行物については、国内の省庁等発行の研究報告書、海外の技術レポートを選定して収録（ただし、海外の会議録は収録対象外）

【平成18年度の収録対象誌数と収録件数】

①国内発行の定期刊行物：約9,500誌、約62.6万件

②国外発行の定期刊行物：約3,300誌、約43.0万件

【国内・海外別の内訳】



CopyRight (C) JST

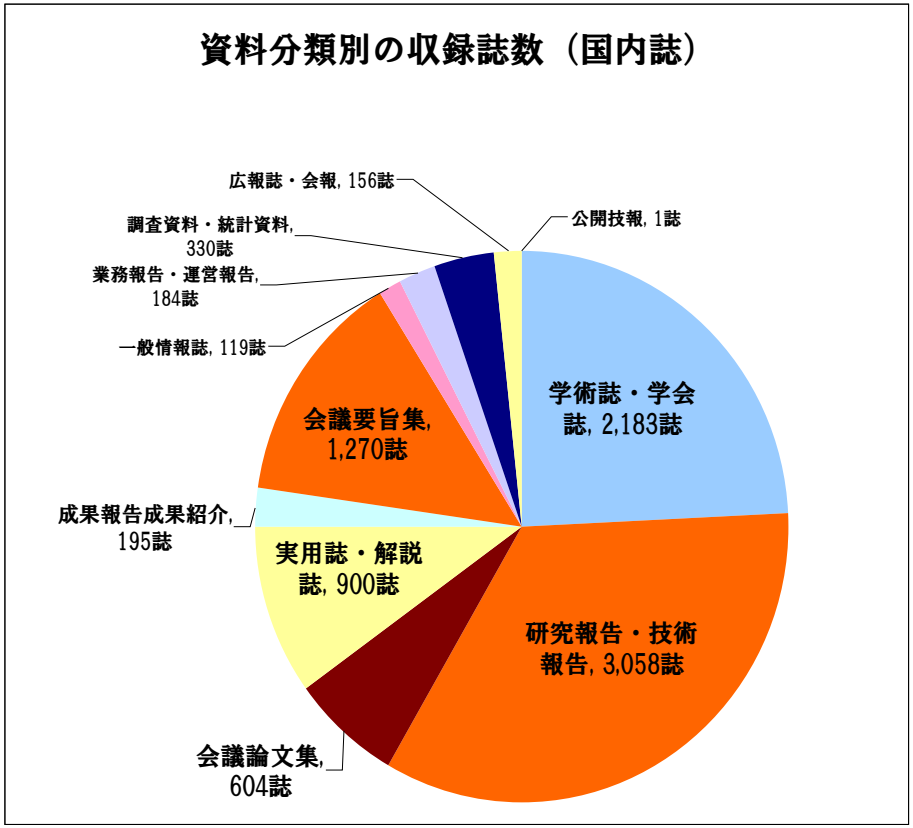
国内誌の資料分類別ＪＳＴ文献データベース収録基準

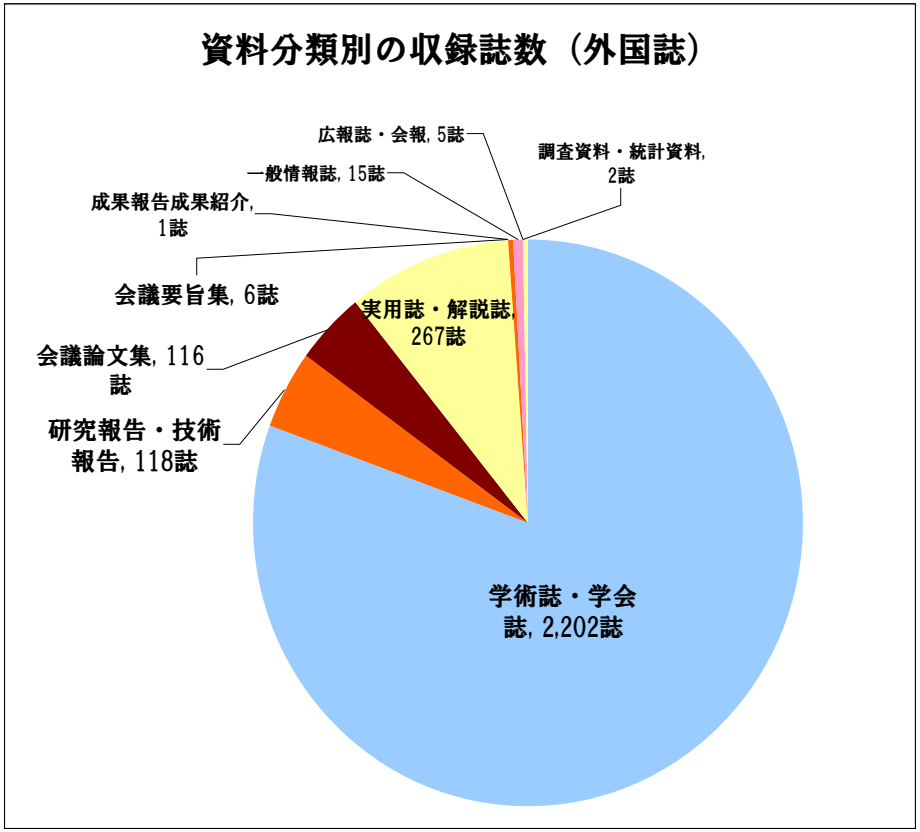
（2006/10現在）

資料分類	国内誌の収録対象	主な特徴	例
01 学術誌・学会誌	○	主に研究成果等を投稿形式の原著論文で掲載。	学協会誌、ジャーナル、論文誌など
02 研究報告・技術報告	○	主に特定の機関の研究成果等を原著論文で掲載。	民間企業技報、大学紀要、研究報告など
03 会議論文集	○	主に学術会議、大会の発表論文を原著論文形式（1論文3ページ以上を中心）で掲載。	大会論文集、講演集など。
04 実用誌・解説誌	○	主に技術動向、実用的な知識、技術紹介、製品紹介などの解説記事を掲載。	商業出版社等が発行している解説誌など
05 成果報告成果紹介	○	主に特定の機関の研究成果等を端的に紹介した記事（通常1～2ページの短報）を掲載。	成果報告書、成果事例集、研究紹介など
06 会議要旨集	△	主に学術会議、大会、シンポジウム、セミナー等の発表内容の要旨（1論文2ページ以下）を掲載。	要旨集、予稿集、概要集、事例集、講義テキストなど
07 一般情報誌	○	主に一般向けの科学技術に関する啓蒙的な記事を中心に掲載。	業界ニュース誌など
08 業務報告・運営報告	○	特定の機関の業務報告、運営報告。	業務報告、年報など。
09 調査資料・統計資料	○	出来事、各種統計や調査結果などを記録・解説した資料。	調査報告、FACT情報、データ集、資料集、白書など
10 広報誌・会報	○	主に特定の機関が発行する一般向け、会員向けのニュースを掲載。	会誌、広報誌、ニュースなど
11 公開技報	○	必ずしも特許出願する必要はないものの、研究、開発内容を公知しておくために刊行する資料。	公開技法
21 学位論文集	×	学位請求のために提出する論文を収録したもの。	
22 特許資料	×	特許の公開・公告・登録等を公示するために出される資料。	
23 議事録・答申	×	行政が主催する委員会、審議会の議事録、答申、報告書など。	
24 新聞	×	特定業界、分野等の新聞。	
25 マニュアル・	×	手引書、便覧、取扱説明書、案内書。	
26 カタログ	×	主に商品の説明および宣伝資料として発行される企業出版物。	
27 抄録誌	×	既出の論文の抄録集。	
28 索引誌	×	各種刊行物、図書や論文等の所在を探し出すための目録。	
29 書誌・目録	×	各種刊行物、図書や論文等の書誌・目録	
30 単行本	×	発行が定期的でなく単発の図書。（単発のﾚﾎﾟｰﾄは除く）	
31 社史・年史	×		
32 規格	×	主に各種規格を掲載。	

CopyRight (C) JST

JST文献データの収録件数





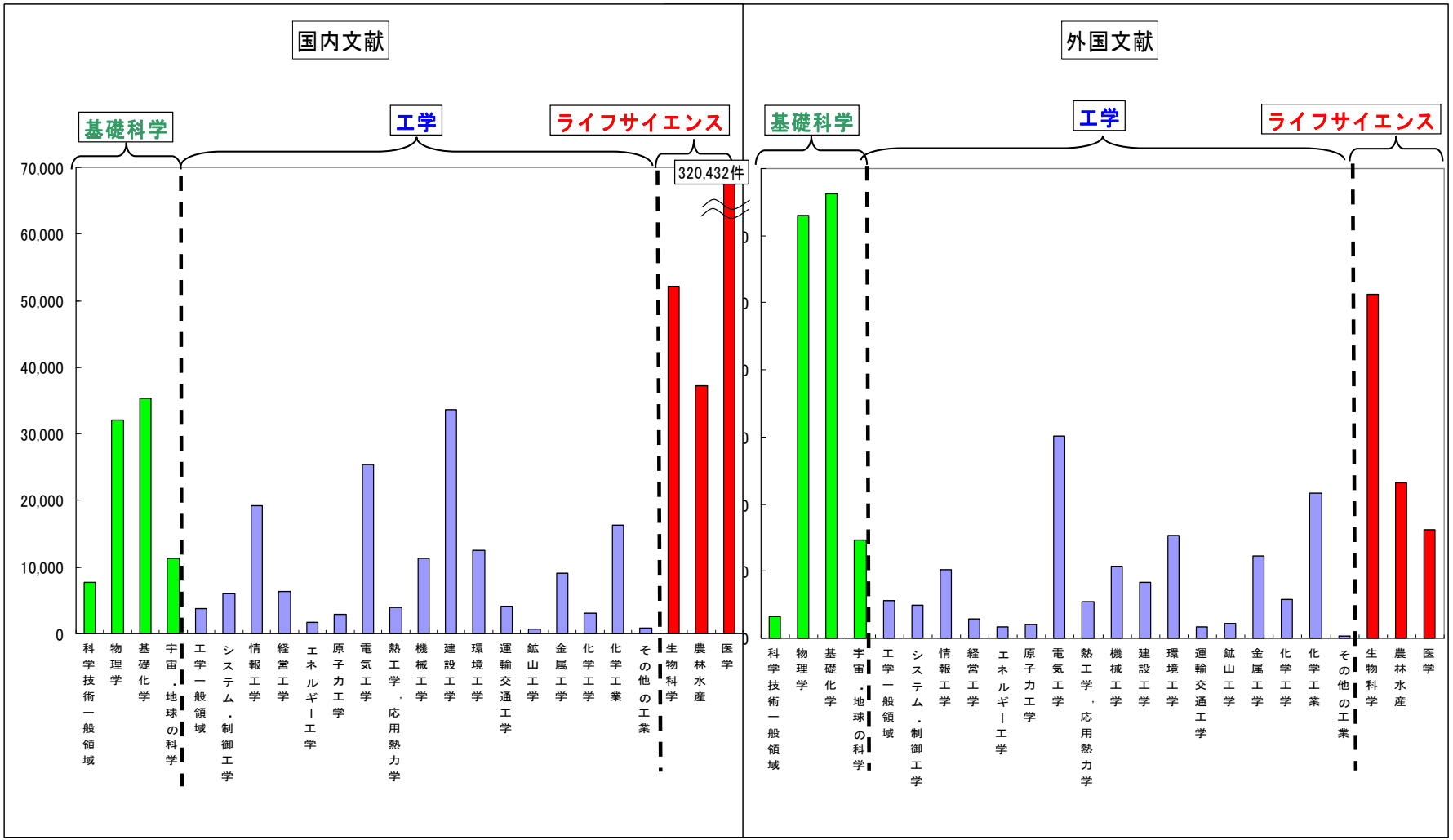
【平成20年度7月時点の収録対象誌数】

①国内発行の定期刊行物：約9,000誌

②国外発行の定期刊行物：約2,700誌

CopyRight (C) JST

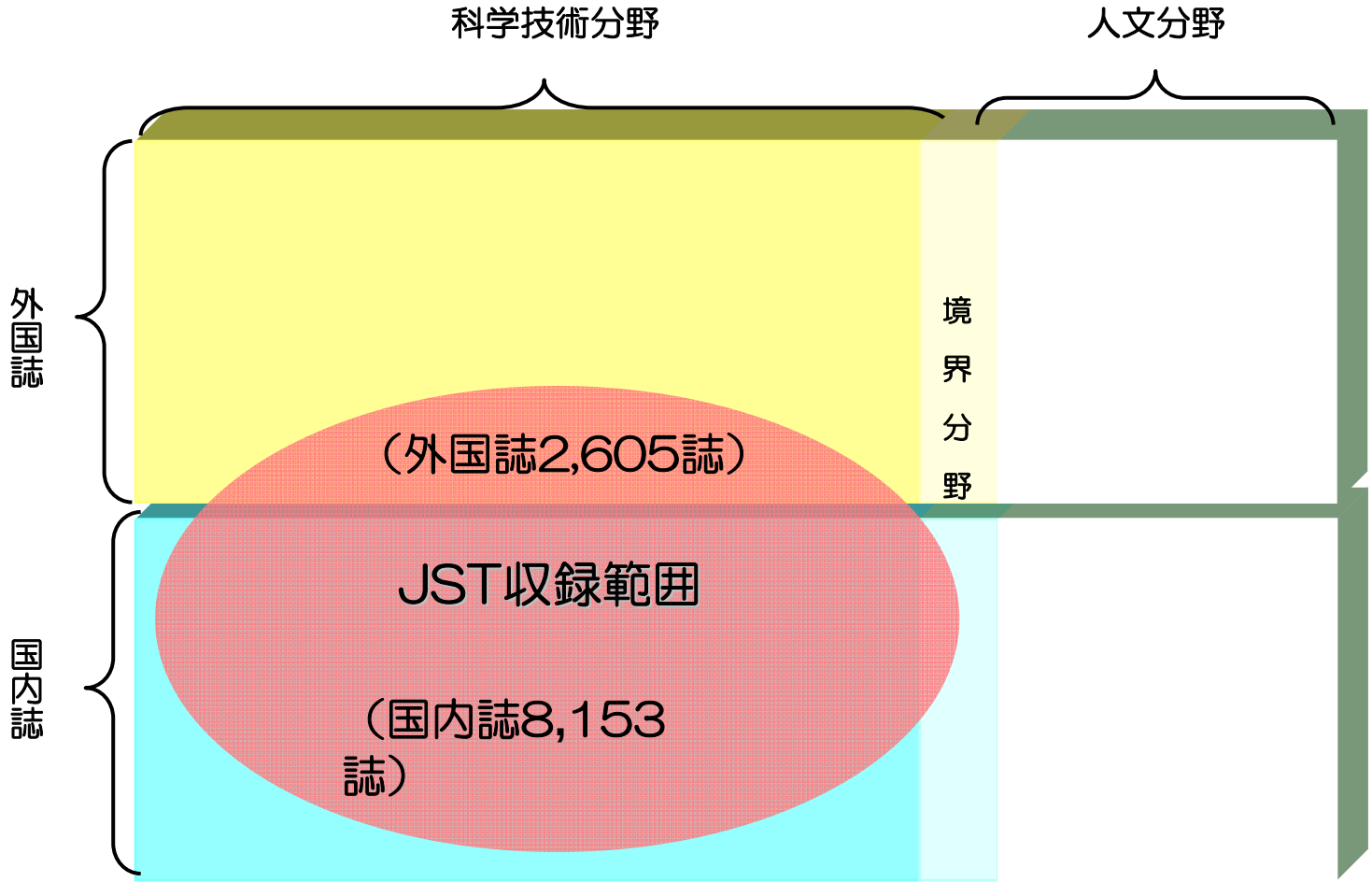
JST文献データベースの収録件数-分野別-（H19年）



CopyRight (C) JST

国内、海外共各分野バランス良く収集

JST文献データベースの収録範囲（定期刊行物）



※　H18年10月現在の収録対象誌

CopyRight (C) JST

JDream Ⅱの文献情報

外国語文献でも日本語検索が可能

整理番号: 08A0255781

和文標題: 金属有機化学蒸着によってN+-Si基板上に成長したZnOホモ接合の室温エレクトロルミネセンス

英文標題: Room temperature electroluminescence from the ZnO homojunction grown on an n+-Si substrate by metal-organic chemical vapor deposition

著者名: LIANG H W, FENG Q J, SUN J C, ZHAO J Z, BIAN J M, HU L Z, ZHANG H Q, LUO Y M, DU G T (Dalian Univ. Technol., Dalian, CHN), FENG Q J (Liaoning Normal Univ., Dalian, CHN)

資料名: Semicond Sci Technol **JST資料番号:** E0503B **ISSN:** 0268-1242 **CODEN:** SSTEET

巻号ページ(発行年月日): Vol.23 No.2 Page.025014.1-4 (2008.02) **写図表**

資料種別: 逐次刊行物(A) **記事区分:** 原著論文(a1)

発行国: イギリス(GBR) **言語:** 英語(EN)

要約文が高い確率で付与されているため、内容把握が容易

抄録: ジエチル亜鉛と酸素ガスをそれぞれ亜鉛と酸素のプリカーサとして導入した**MOCVD**技術により,N+-Si基板上にZnO発光ダイオードを作製した。電流電圧特性はかなり良好なPN接合による整流特性を示した。40mAの直接順方向バイアス電流を注入することにより,接合部からエレクトロルミネセンス(EL)放射が観測された。ELスペクトルは約460nmに中心を持ち,半値幅約80nmのワイドバンドであった。ZnO薄膜のフォトルミネセンススペクトルは376nmの近バンドエッジ発光で,480nm近くに弱いディープレベル発光を伴なった。ZnO PN接合からのELは欠陥に関係した発光であることを確認した。

分類コード: NC03082G (621.383:535.35)

シソーラス用語: *MOCVD, *酸化亜鉛, 半導体接合, エレクトロルミネセンス, 半導体素子, PN接合, 光ルミネセンス, 電流電圧特性, 整流, *発光ダイオード

準シソーラス用語: フォトルミネセンス, ホモ接合, 金属有機化学蒸着, 発光素子

物質索引: ジエチル亜鉛 (J6.483A)

索引語で網羅的な検索を実現

Copyright (C) JST

検索ガイドP. 2参照

JDream Ⅱ：提供中の主なデータベース

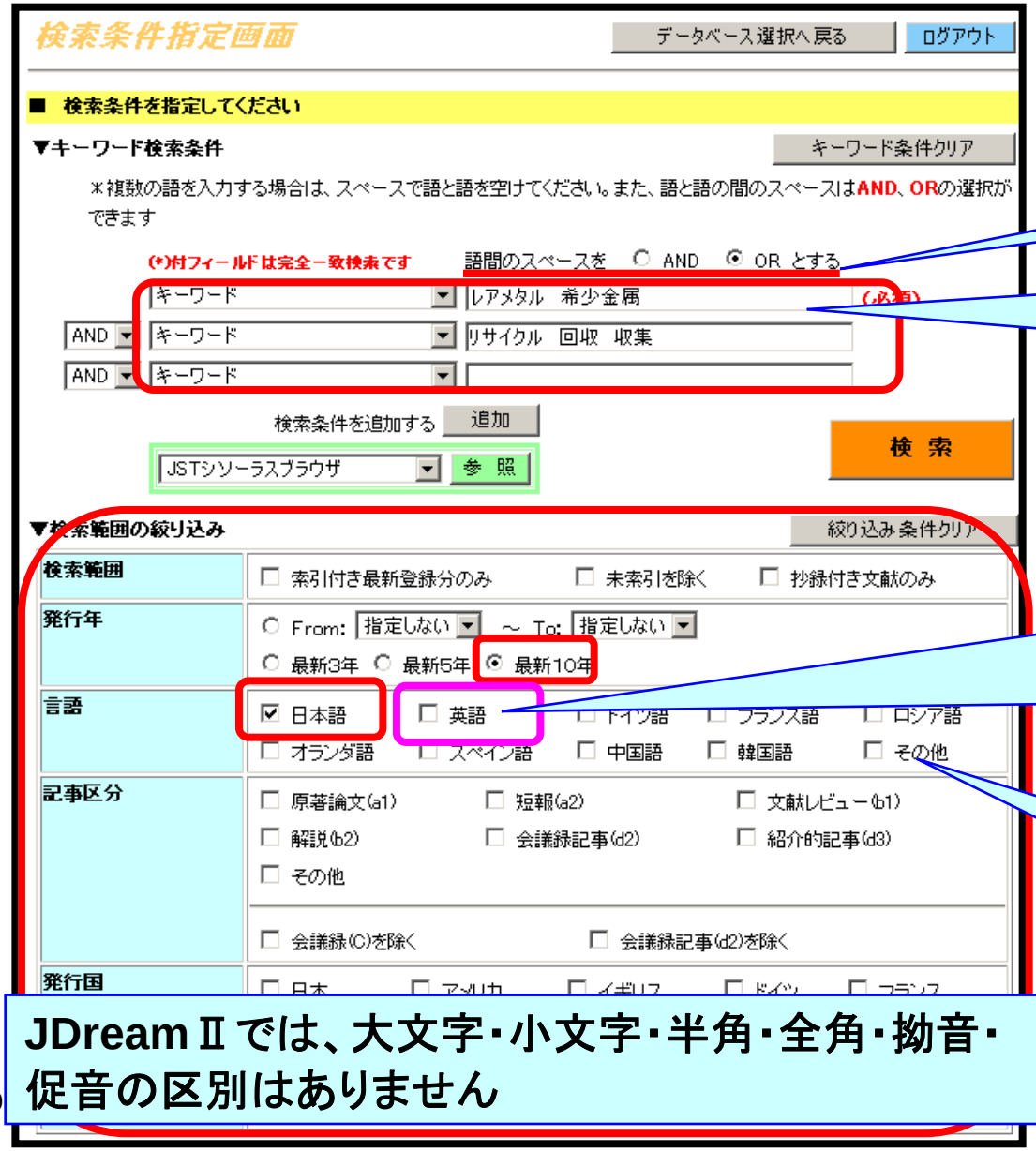
データベース名		収録期間	収録分野	収録件数（2008.8現在）
JSTPlus		1981年以降	科学技術全般（国内と外国）	約2,016万件
JST7580		1975年～1980年	科学技術全般（国内と外国）	約220万件
JCHEM		－	化学物質情報	約259万件
JMEDPlus		1981年以降	医学、薬学、看護学系(国内)	約465万件
MEDLINE		1966年以降	医学および関連領域(外国)	約1,705万件
医学・薬学予稿集全文データベース		1999年以降	医学・薬学・看護学系学会より許諾を頂いた予稿集の全文（PDF）	約101万件
JSTPatM	特許	1993年以降	国内公開公報技術情報	約543万件
	文献	1981年以降	JSTPlus＋JMEDPlus	約2,315万件

CopyRight (C) JST

①データベース選択画面

CopyRight (C)

②検索画面（シンプルモード）



語間スペースの演算子を指定します。

検索項目及び検索語を指定します

英語にのみチェックを入れると英語論文だけが表示されます.

（ヒント：機械工学研修）

検索範囲の絞込み項目を指定します

JDreamⅡでは、大文字・小文字・半角・全角・拗音・促音の区別はありません

③検索結果の表示

検索結果画面　データベース選択へ戻る　ログアウト

■ 検索条件

	キーワード	レアメタル OR 希少金属
AND	キーワード	リサイクル OR 回収 OR 収集
AND	発行年	最新10年
AND	言語	日本語

ヒット件数: 169 件　内訳表示　頻度分析を見て絞込検索

検索結果を絞り込む　検索条件画面に戻る　新規検索開始

タイトル一覧　タイトル一覧表示設定へ戻る

☐ 表示されている標題の全てをチェックする

169件中 1 ～ 10 件を表示しています

←前10ページ| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 次10ページ→

#	標題・掲載誌
☐ 1	この「技術」が時代を変える 液状イオン交換体を利用したレアメタル及び貴金属回収 JETI Vol.56, No.2, Page94-97 2008.02.18 ＜未索引＞ ＜抄録なし＞
☐ 2	日本におけるフラットパネルディスプレイ用途のインジウムの物質フロー分析 日本金属学会誌 Vol.72, No.2, Page99-104 (J-STAGE) 2008
☐ 3	グローバル化と精密工学 レアメタル資源の確保にむけて 精密工学会誌(CD-ROM) Vol.74, No.1, Page25-27 2008.01.05
☐ 4	都市鉱山としての家電製品ストック-ストック型社会構築に向けて- 電気学会論文誌 C Vol.128, No.1, Page6-10 2008.01.01
☐ 5	非鉄金属製錬プロセスと操業 飯島製錬所における亜鉛製錬 J MMIJ Vol.123, No.12, Page642-645 2007.12.25
☐ 6	廃棄物の処理と素材リサイクルの経済学的基礎 J MMIJ Vol.123, No.12, Page582-590 2007.12.25
☐ 7	ナノパーティクルテクノロジー:新市場開拓と参入 メカノケミカル法の可能性-ナノ粒子設計と資源の高付加価値化- 粉砕 No.51, Page24-29 2007.11.20
☐ 8	PerfectRECシステム/金属研磨スラッジの圧縮固形化・リサイクル装置 JTEKT Eng J No.1004, Page94-99 2007.11
☐ 9	放射線グラフト材料を用いた有用金属の回収 放射線プロセスシンポジウム講演要旨集 Vol.12th, Page18-21 2007 ＜抄録なし＞
☐ 10	温熱間鍛造型の寿命向上 電気製鋼 Vol.78, No.4, Page331-340 2007.11.29

169件中 1 ～ 10 件を表示しています

←前10ページ| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 次10ページ→

タイトルをクリックすると回答を表示

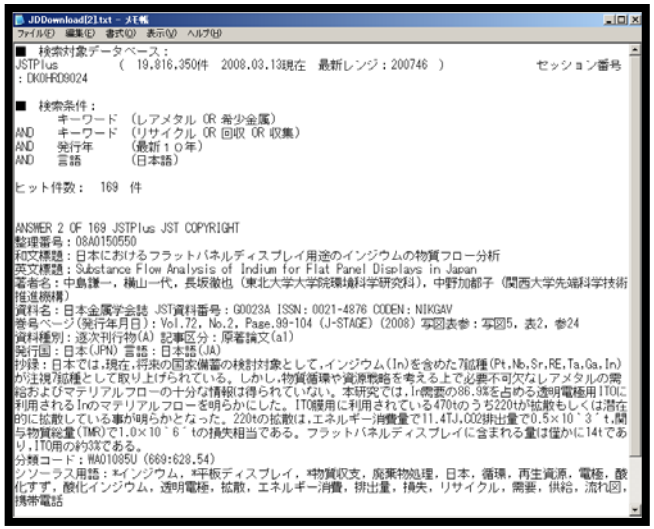
ANSWER 2 OF 169 JSTPLUS JST COPYRIGHT

整理番号: 08A0150550
和文標題: 日本におけるフラットパネルディスプレイ用途のインジウムの物質フロー分析
英文標題: Substance Flow Analysis of Indium for Flat Panel Displays in Japan
著者名: 中島謙一, 横山一代, 長坂徹也 (東北大学大学院環境科学研究科), 中野加都子 (関西大学先端科学技術推進機構)
資料名: 日本金属学会誌 **JST資料番号:** G0023A **ISSN:** 0021-4876 **CODEN:** NIKGAV
巻号ページ(発行年月日): Vol.72 No.2 Page.99-104 (J-STAGE) (2008) **写図表参:** 写図5, 表2, 参24
資料種別: 逐次刊行物(A) **記事区分:** 原著論文(a1)
発行国: 日本(JPN) **言語:** 日本語(JA)
抄録: 日本では,現在,将来の国家備蓄の検討対象として,インジウム(In)を含めた7鉱種(Pt,Nb,Sr,RE,Ta,Ga,In)が注視7鉱種として取り上げられている。しかし,物質循環や資源戦略を考える上で必要不可欠な**レアメタル**の需給およびマテリアルフローの十分な情報は得られていない。本研究では,Inの需要の86.9%を占める透明電極用ITOに利用されるInのマテリアルフローを明らかにした。ITO膜用に利用されている470tのうち220tが拡散もしくは潜在的に拡散している事が明らかとなった。220tの拡散はエネルギー消費量で11.4TJ,CO2排出量で0.5×10^3^t,関与物質総量(TMR)で1.0×10^6^tの損失相当である。フラットパネルディスプレイに含まれる量は僅かに14tであり,ITO用の約3%である。
分類コード: WA01085U (669:628.54)
シソーラス用語: *インジウム, *平板ディスプレイ, *物質収支, 廃棄物処理, 日本, 循環, 再生資源, 電極, 酸化すず, 酸化インジウム, 透明電極, 拡散, エネルギー消費, 排出量, 損失, **リサイクル**, 需要, 供給, 流れ図, 携帯電話
準シソーラス用語: フラットパネルディスプレイ, マテリアルフロー, 物質循環, *ITO電極, 二酸化炭素排出量

チェックした標題の回答を表示

◉ チェックした標題を　○ 全件を　タイトルのチェック(レ)はページが変わっても有効です。

回答表示　ダウンロード


JDDownload21.txt - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
■ 検索対象データベース：
JSTPlus　(19,816,350件 2008.03.13現在 最新レンジ：200746)　セッション番号：DK0HRD9024
■ 検索条件：
AND キーワード (レアメタル OR 希少金属)
AND キーワード (リサイクル OR 回収 OR 収集)
AND 発行年 (最新１０年)
AND 言語 (日本語)
ヒット件数： 169 件
ANSWER 2 OF 169 JSTPlus JST COPYRIGHT
整理番号：08A0150550
和文標題：日本におけるフラットパネルディスプレイ用途のインジウムの物質フロー分析
英文標題：Substance Flow Analysis of Indium for Flat Panel Displays in Japan
著者名：中島謙一, 横山一代, 長坂徹也 (東北大学大学院環境科学研究科), 中野加都子 (関西大学先端科学技術推進機構)
資料名：日本金属学会誌 JST資料番号：G0023A ISSN：0021-4876 CODEN：NIKGAV
巻号ページ(発行年月日)：Vol.72, No.2, Page.99-104 (J-STAGE) (2008) 写図表参：写図5, 表2, 参24
資料種別：逐次刊行物(A) 記事区分：原著論文(a1)
発行国：日本(JPN) 言語：日本語(JA)
抄録：日本では,現在,将来の国家備蓄の検討対象として,インジウム(In)を含めた7鉱種(Pt,Nb,Sr,RE,Ta,Ga,In)が注視7鉱種として取り上げられている。しかし,物質循環や資源戦略を考える上で必要不可欠なレアメタルの需給およびマテリアルフローの十分な情報は得られていない。本研究では,Inの需要の86.9%を占める透明電極用ITOに利用されるInのマテリアルフローを明らかにした。ITO膜用に利用されている470tのうち220tが拡散もしくは潜在的に拡散している事が明らかとなった。220tの拡散はエネルギー消費量で11.4TJ,CO2排出量で0.5×10^3^t,関与物質総量(TMR)で1.0×10^6^tの損失相当である。フラットパネルディスプレイに含まれる量は僅かに14tであり,ITO用の約3%である。
分類コード：WA01085U (669:628.54)
シソーラス用語：*インジウム, *平板ディスプレイ, *物質収支, 廃棄物処理, 日本, 循環, 再生資源, 電極, 酸化すず, 酸化インジウム, 透明電極, 拡散, エネルギー消費, 排出量, 損失, リサイクル, 需要, 供給, 流れ図, 携帯電話

④全文リンク情報の表示－1

ANSWER 60 OF 169 JSTPLUS JST COPYRIGHT

整理番号: 07A0218543
和文標題: 透明導電膜の現状と今後の課題
著者名: 高木悟 (旭硝子 中研)
資料名: 真空 **JST資料番号:** G0194A **ISSN:** 0559-8516 **CODEN:** SHINA
巻号ページ(発行年月日): Vol.50 No.2 Page.105-110 (2007.02.20) **写図表:** 写図9
資料種別: 逐次刊行物(A) **記事区分:** 文献レビュー(b1)
発行国: 日本(JPN) **言語:** 日本語(JA)
抄録: ITO膜を中心に透明導電膜の現状とその課題について紹介した。ITO膜は液晶デ
そして実用化が開始された有機LEDなどの透明電極として最も良く利用されている。現
で成膜され,比抵抗が1.5-2×10`-4`Ω･cmのITO膜が実用化されているが,ディスプレイの
能の向上のためにさらに低抵抗化が求められている。Inは**希少金属**のため,Inの**回収**
ために重要な課題の一つである。ITOに代わる透明導電膜の検討も行われているが,ま
分類コード: BK14050P, BM03043X (539.23:54-31, 537.311:621.315.592)
シソーラス用語: *酸化インジウム, 酸化すず, 化合物半導体, 半導体薄膜, 液晶ディス
光ダイオード, *透明電極, スパッタ蒸着, 電子ビーム蒸着, **レアメタル**, **回収**, 再利用, *電
準シソーラス用語: *ITO【固溶体】, **希少金属**, *透明導電膜, 有機LED

JOI情報: joi: JST.JSTAGE/jvsj/50.105

リンク情報:
J-STAGE Journal@rchive

J-STAGE　My J-STAGE ログイン

真空　日本真空協会

巻号一覧 | English　発行機関ホームページ

著者名:　検索語:　Search　詳細検索

お気に入り / 被引用アラート 設定　お気に入り 資料に追加　資料アラート 登録　My J-STAGE ヘルプ

TOP > 巻号一覧 > 目次一覧 > 書誌事項

ONLINE ISSN: 1880-9413
PRINT ISSN: 0559-8516

真空
Vol. 50 (2007) , No. 2 pp.105-110

[PDF (552K)] [引用文献]

透明導電膜の現状と今後の課題

高木 悟[1)]

1) 旭硝子株式会社　中央研究所

(Received May 11, 2006)
(Accepted October 14, 2006)

[PDF (552K)]

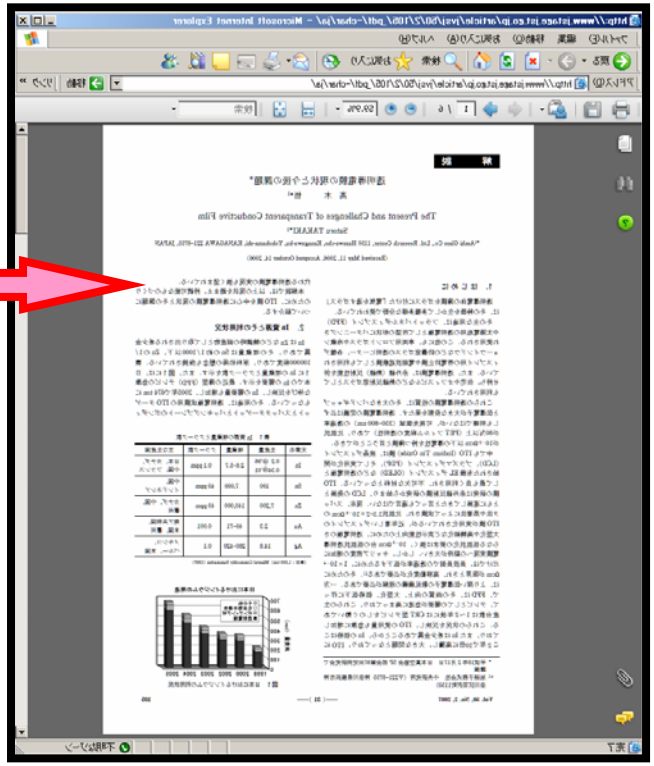
書誌ダウンロード[Help]
RIS
BibTeX

論文を引用する際にご利用ください:
木 悟: 真空, **50** (2007) 105 .

:10.3131/jvsj.50.105
OI JST.JSTAGE/jvsj/50.105

Copyright (c) 2008 日本真空協会

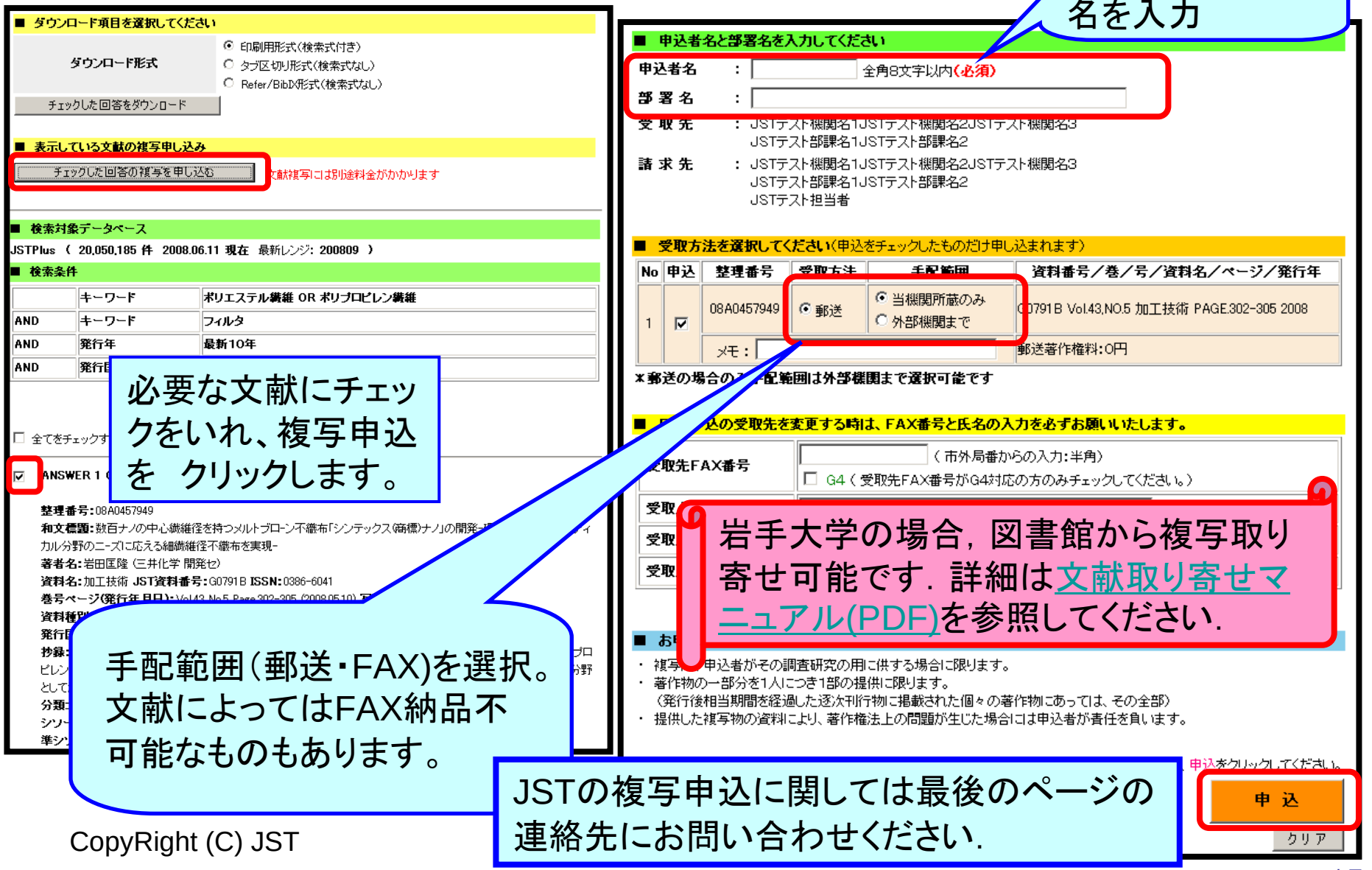
【J-STAGEの表示例】



全文リンク情報があるとリンク情報が表示されます。(次項)

JDreamの各データから各サイトの電子ジャーナル等を閲覧できますCROSSREF、PubMedについては各リンク先の解説をご覧ください

⑤原文複写の申し込み



申込者名と部課名を入力

必要な文献にチェックをいれ、複写申込を クリックします。

手配範囲(郵送・FAX)を選択。文献によってはFAX納品不可能なものもあります。

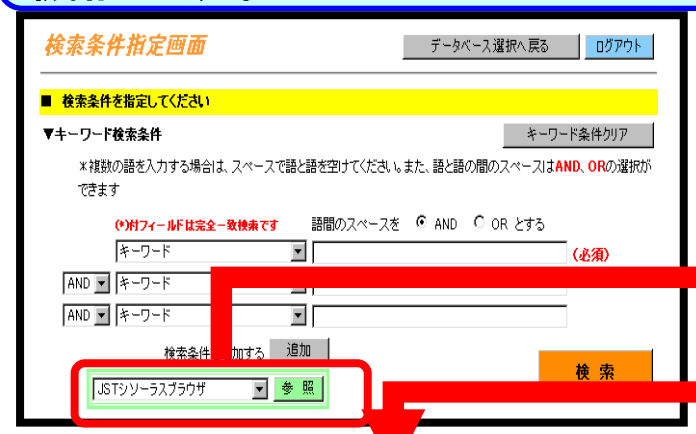
岩手大学の場合，図書館から複写取り寄せ可能です．詳細は文献取り寄せマニュアル(PDF)を参照してください．

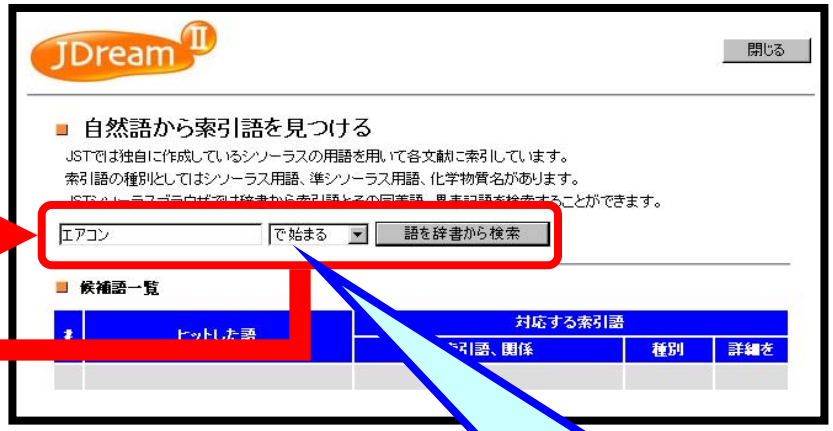
JSTの複写申込に関しては最後のページの連絡先にお問い合わせください．

CopyRight (C) JST

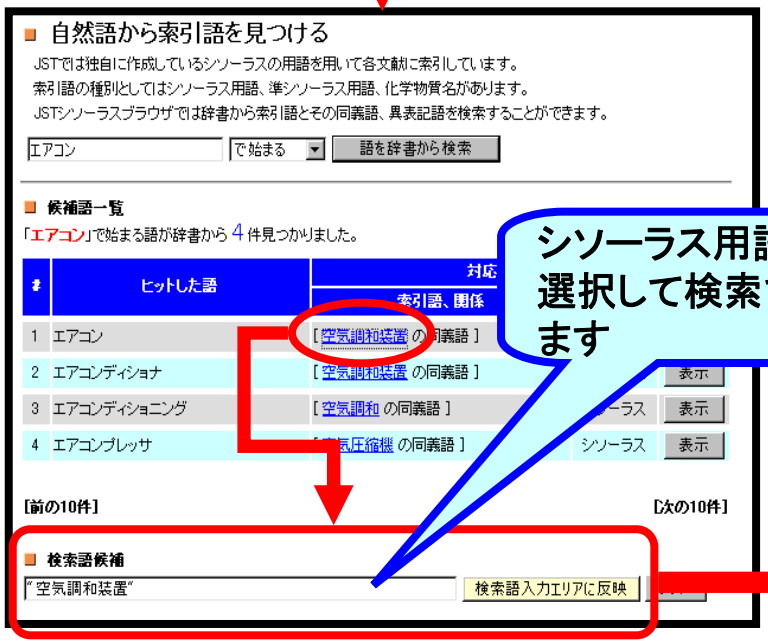
⑥シソーラスブラウザ機能のご紹介

検索したいキーワードに対応するシソーラス用語（検索用の言葉）を探す機能です。

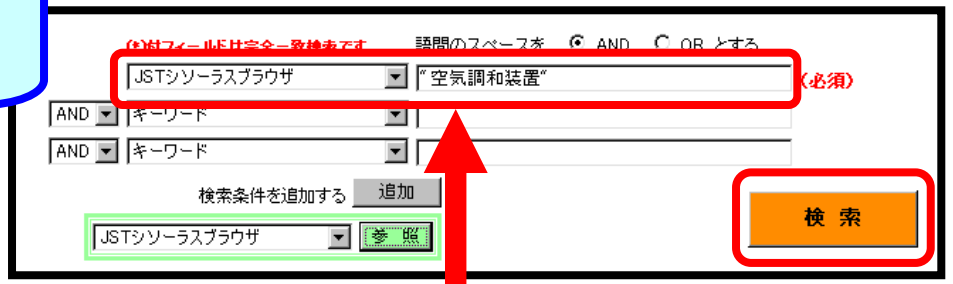




調べたい言葉を入力
「で始まる」「を含む」
「一致する」の3項目
で検索できます

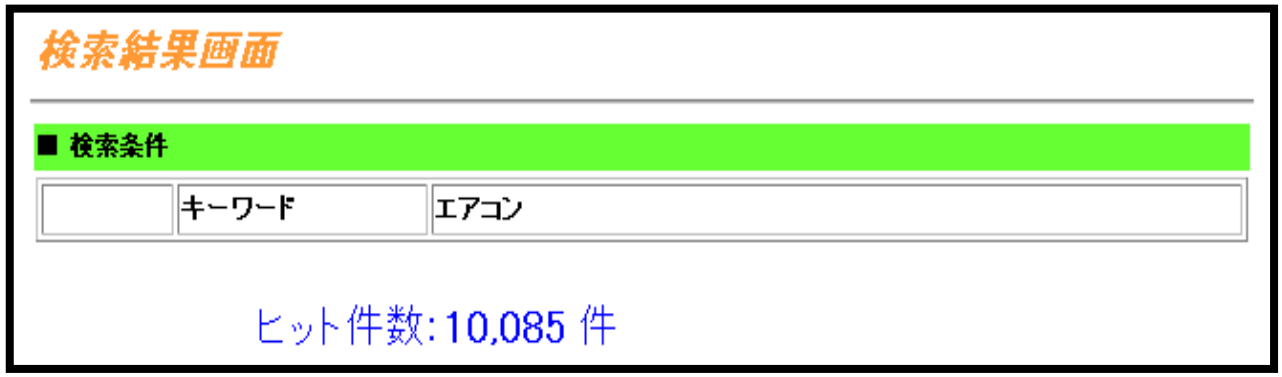


シソーラス用語を
選択して検索できます



シソーラス用語を使った検索の具体例

- キーワード“エアコン”で検索



ヒット件数大幅アップ

- シソーラス用語“空気調和装置”で検索

CopyRight (C) JST

利用方法例

（1）書誌事項が分かっている文献の検索

（2）キーワード・化学物質名による文献
と周辺情報収集

CopyRight (C) JST

（1）書誌事項が分かっている文献の検索事例

References

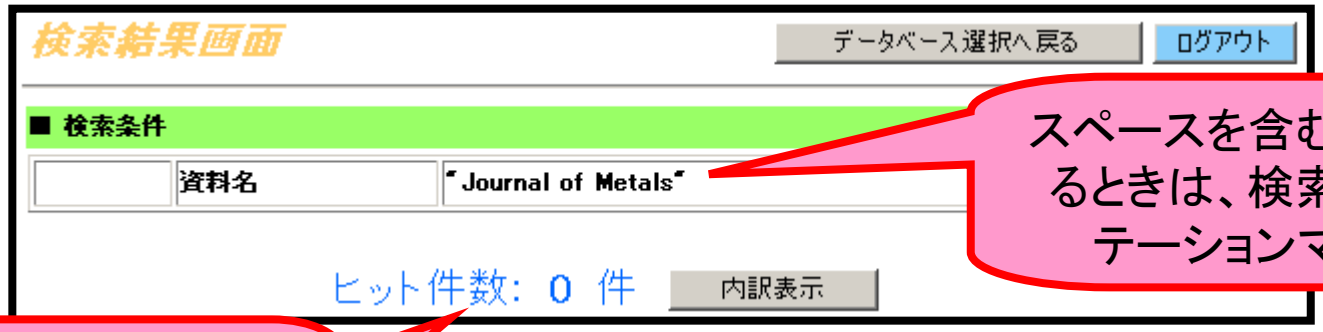
1) D. R. Sadoway : Journal of Metals, **53**(2001), May, 34−35.
2) K. Tanaka : Proc. MMIJ Fall Meeting, (2000), pp.93−96.
3) Z. Chen, D. J. Fray, and T. W. Farthing : Nature, **407**(2000), 361−36
4) D. J. Fray, T. W. Farthing, and Z. Chen. : International Patent, WO 4638, (1999).
5) D. J. Fray : Journal of Metals, October, (2001), **53**, 26−31.
6) K. Ono and R. O. Suzuki : Materia (Bulletin of Japan Institute o Metals), **41**(2002), 28−31.
7) K. Ono and R. O. Suzuki : Journal of Metals, February, **54**(2002), 59−61.
8) K. Ono and R. O. Suzuki : Titan (Japan Titanium Society), **50**(2002), 105−108.
9) R. O. Suzuki and K. Ono : Proc. Yazawa International Symposium : Metallurgical and Materials Processing Principles and Technologies (in TMS annual Conf., March 3−7, 2003 San Diego, USA), (2003), pp.187−199.
10) T. Takenaka, T. Suzuki, M. Ishikawa, E. Fukasawa, and M. Kawakami : Electrochemistry (The Electrochemical Society of Japan), **67**(1999), 661−668.

7）の文献情報を検索する

CopyRight (C) JST

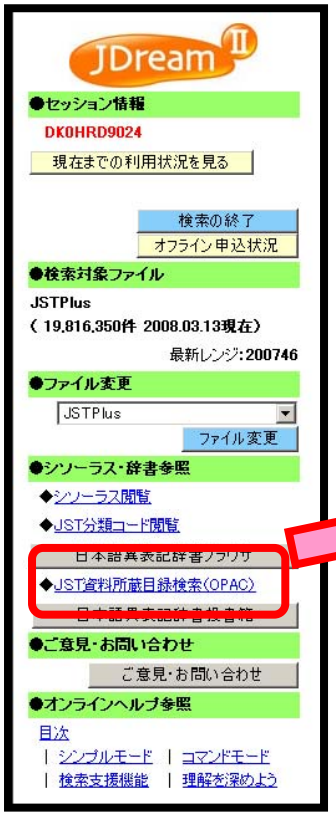
①資料名を検索する

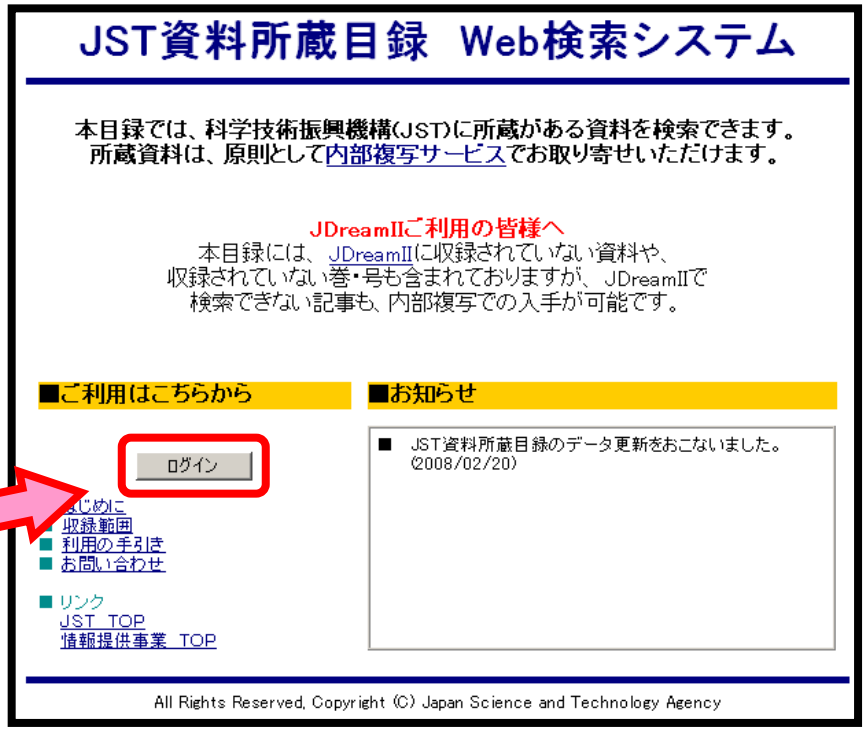
ポイント）欧文資料名はデータベースに略称にて搭載されています



スペースを含むキーワードを検索するときは、検索語を“”（ダブルコーテーションマーク）で囲みます

フルスペル表記で検索すると0件になります



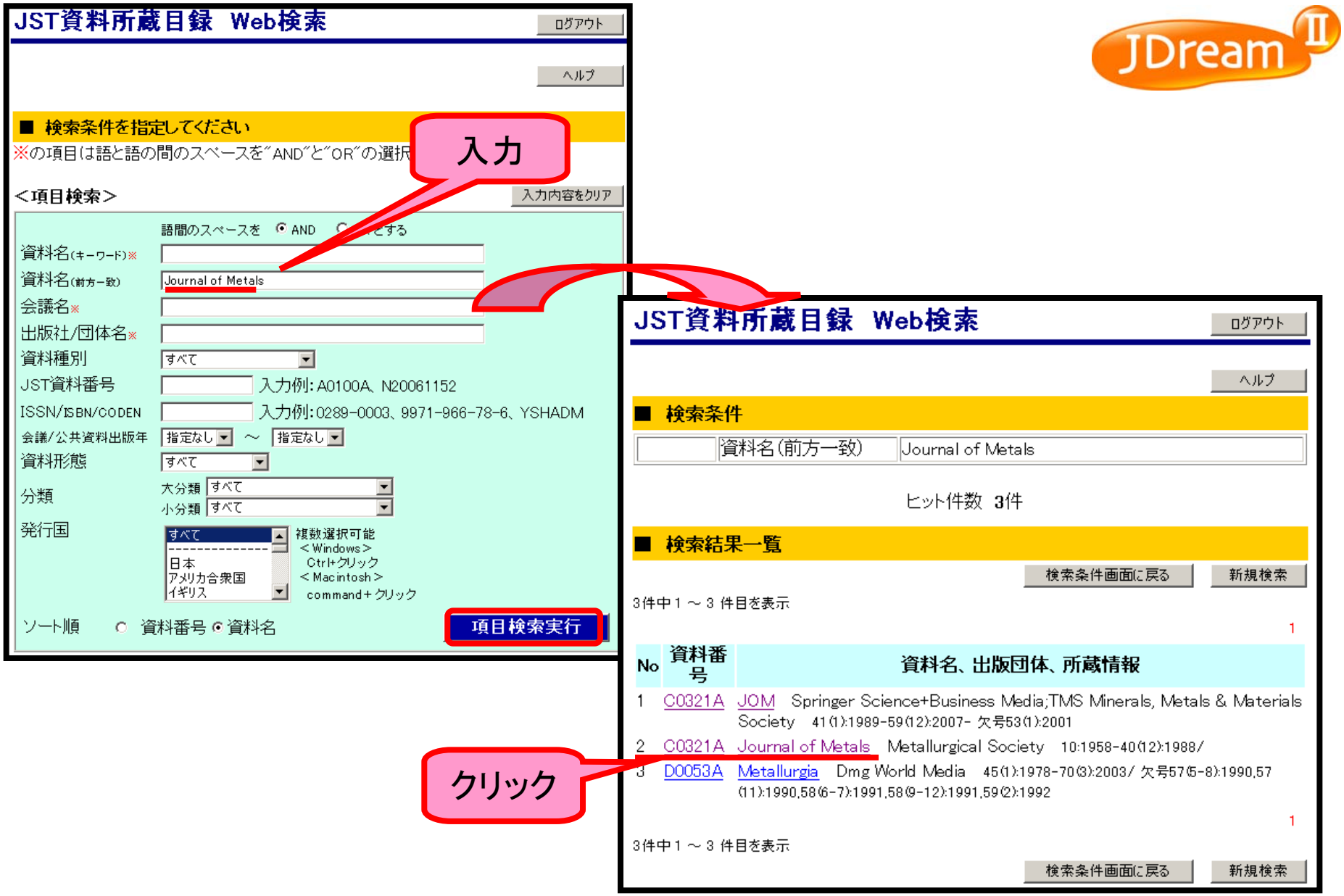


欧文資料名の略記を探すには、

「JST資料所蔵目録検索（OPAC）」

を使用します

CopyRight (C) JST



CopyRight (C) JST

資料番号で検索すると資料名が変わっても変更前後のものをあわせて検索します

「資料番号」で検索

「資料名」で検索

JOMという雑誌に名称が変わっている

CopyRight (C) JST

②著者名を検索する

ポイント）英文での日本人著者名の表記にはルールがあります

2005年までの文献
・・・「姓」のフルスペル＋1文字スペース＋「名」の最初の1文字
例）小野　勝敏氏　→　“ono　k”
2006年以降の文献
・・・「姓」のフルスペル＋１文字スペース＋「名」のフルスペル
例）小野　勝敏氏　→　“ono　katsutoshi”

両方を一度に検索するには・・・、

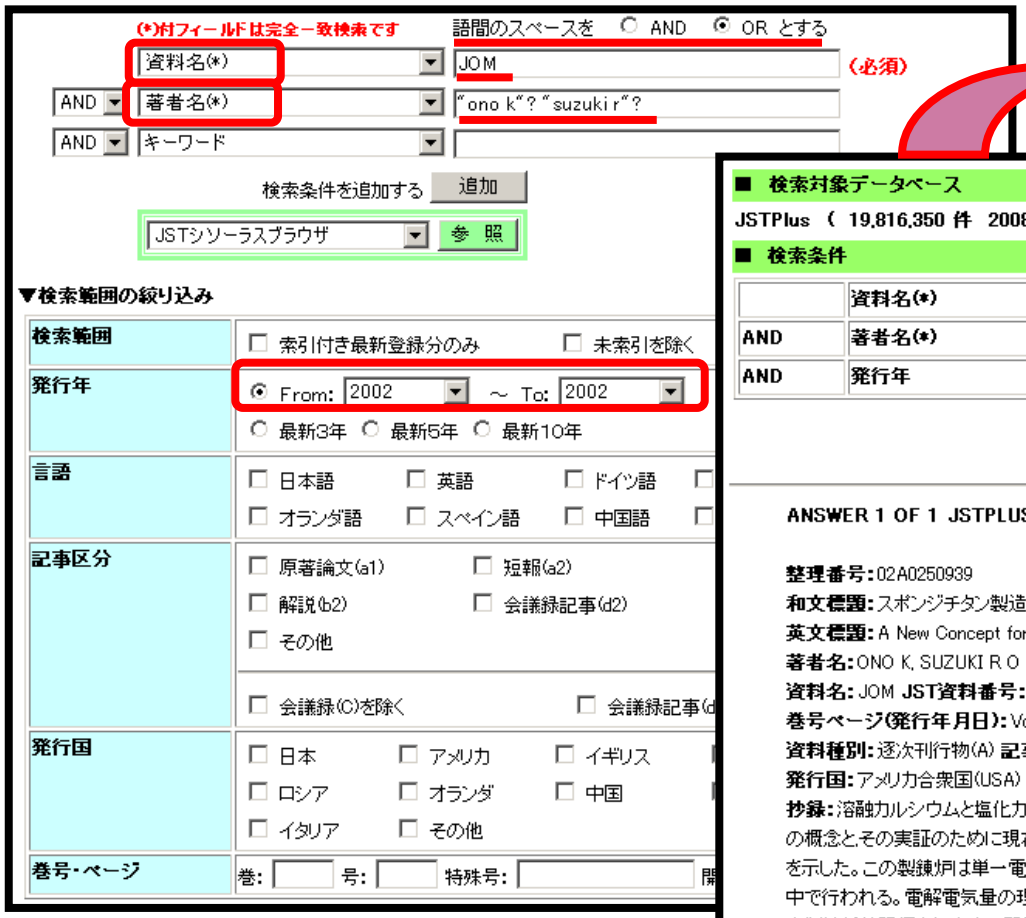
キーワードの後に「？」マークを入力（前方一致検索）

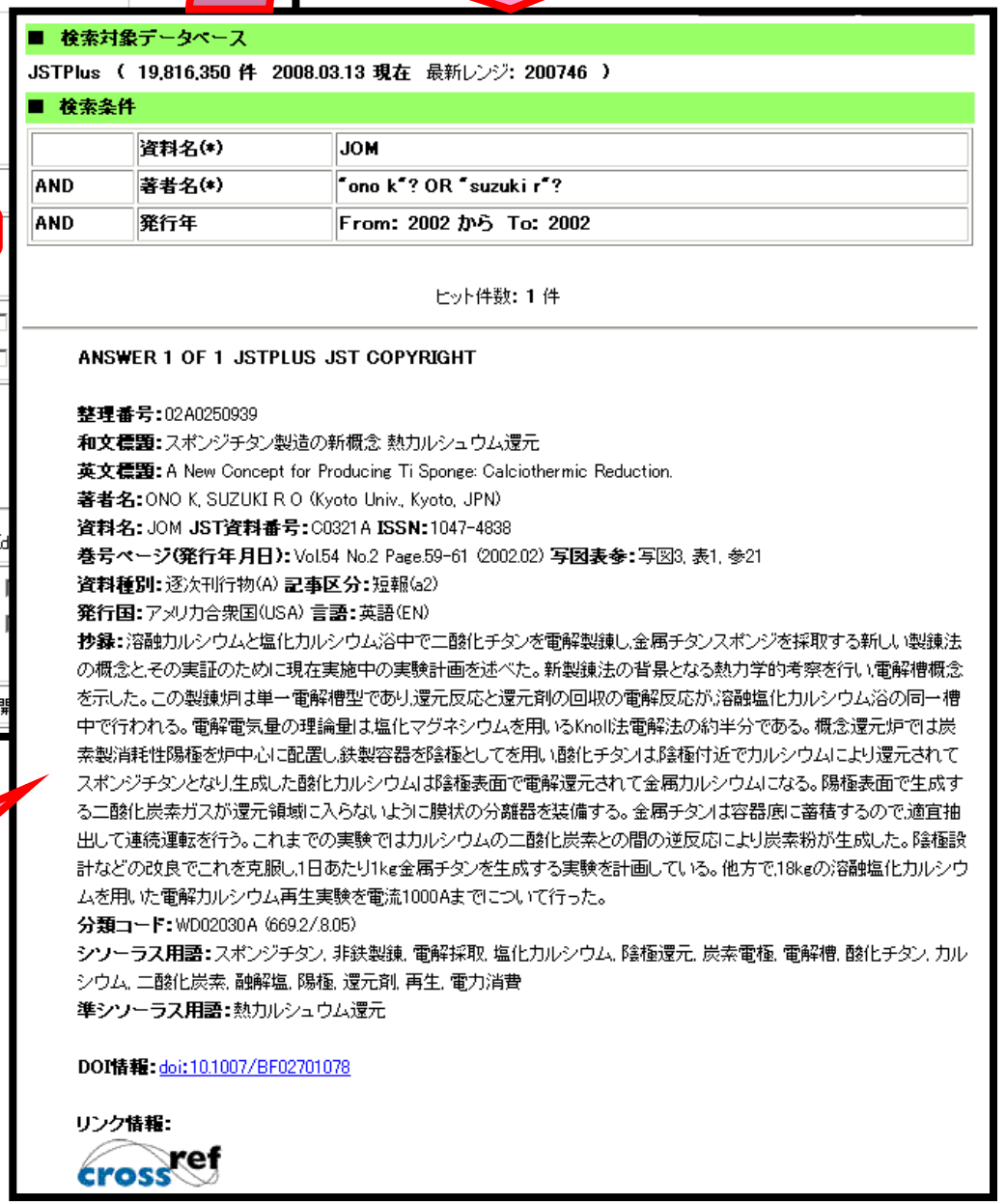
“「姓」のフルスペル＋1文字スペース＋「名」の最初の1文字”？

にて検索

③発行年を2002年に絞る

CopyRight (C) JST





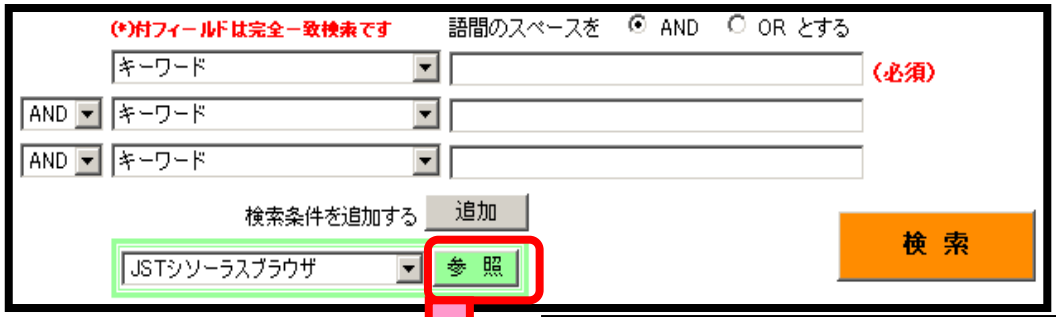
該当の文献

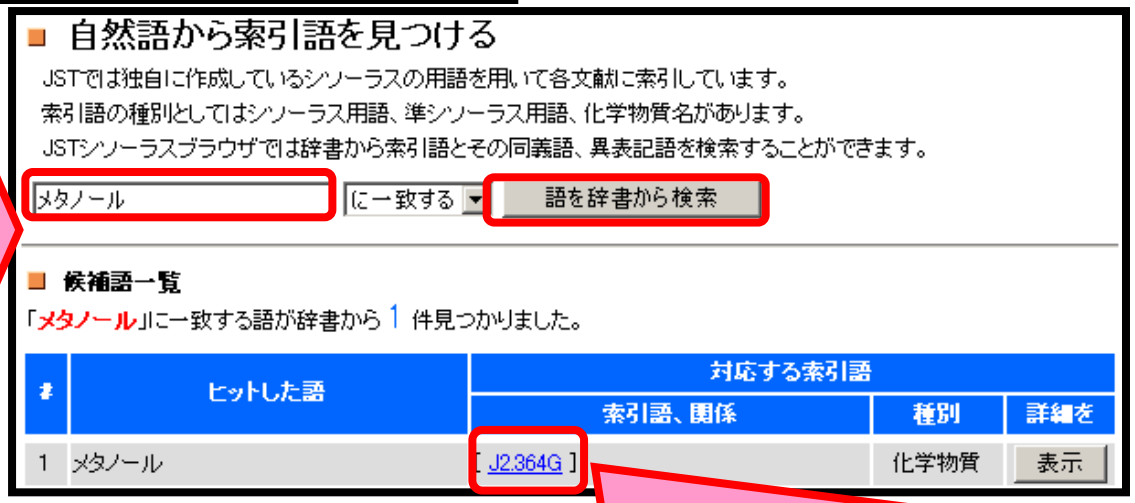
CopyRight (C) JST

（2）キーワード・化学物質名による文献と周辺情報収集

「メタノールまたはジメチルエーテルとガスタービン 」についての文献を検索する

各キーワードの索引語・同義語を探す
「メタノールまたはジメチルエーテルとガスタービンについて」





1999年以降は化学物質索引が行われているためこの番号で検索が可能

CopyRight (C)

1998年以前は化学物質名にて検索をする必要があります

JDream II

自然語から索引語を見つける

JSTでは独自に作成しているシソーラスの用語を用いて各文献に索引しています。
索引語の種別としてはシソーラス用語、準シソーラス用語、化学物質名があります。
JSTシソーラスブラウザでは辞書から索引語とその同義語、異表記語を検索することができます。

メタノール　[に一致する]　語を辞書から検索

候補語一覧

「メタノール」に一致する語が辞書から 1 件見つかりました。

#	ヒットした語	対応する索引語		
		索引語、関係	種別	詳細を
1	メタノール	[J2.364G]	化学物質	表示

詳細を「表示」をクリック

索引語	J2.364G
種別	化学物質

化学物質情報を表示(日化辞Web)

検索語入力エリアに反映

同義語で検索範囲を広げる　　サブヘディングで検索範囲を絞り込む

下記の同義語を検索に加える

- [x] 以下をすべて選択
- [x] カルビノール
- [x] ヒドロキシメタン
- [x] メタノール
- [x] メチルアルコール
- [x] 木精
- [x] ナトリウムメトキシド[J2.934C]

慣用名・関連物質が表示されます

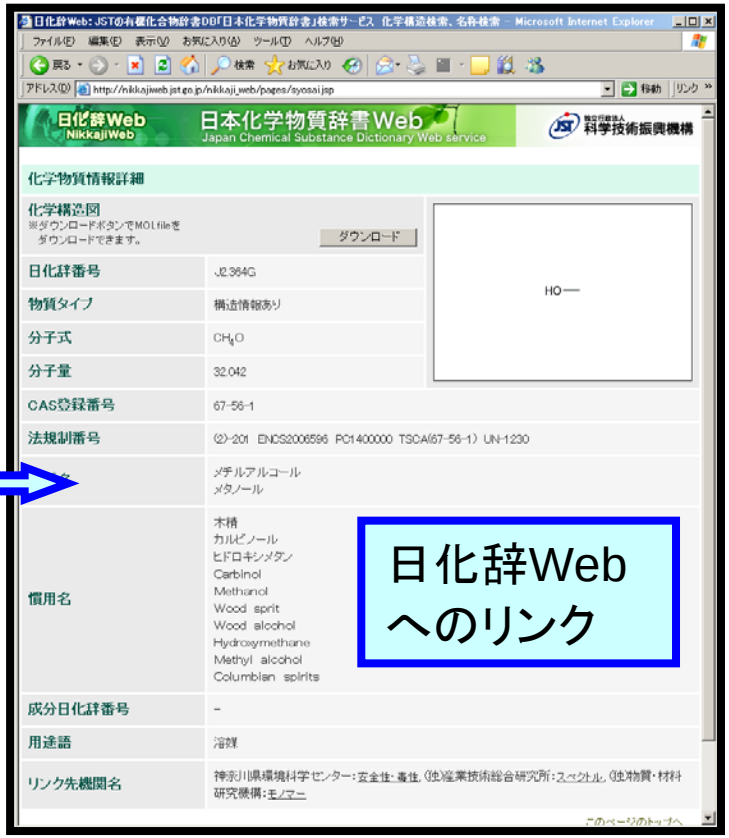
検索語入力エリアに反映

「検索語入力エリアに反映」をクリック

「J2.364G」に関係しているシソーラス用語

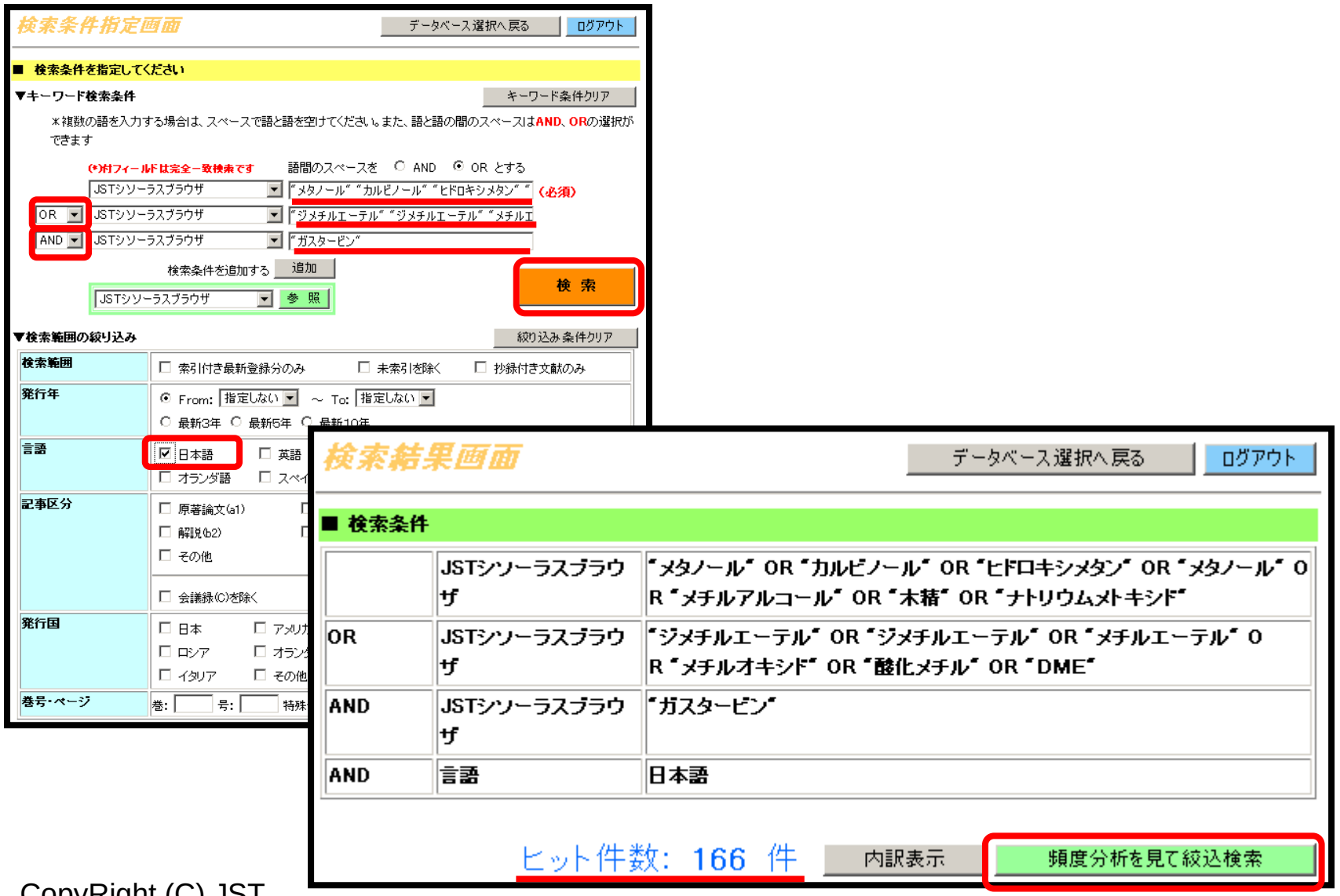
クリックするとその語の索引語画面に切り替わります

構造上位語	脂肪族アルコール
機能関連語群	溶媒



日化辞Webへのリンク

同様にシソーラスブラウザで「ジメチルエーテル」、「ガスタービン」を検索し、日本語文献に絞り込む



CopyRight (C) JST

CopyRight (C) JST

東芝様、日立様それぞれの文献を絞り込んで再度頻度分析を行う

JDream II

東芝様でよく出現するキーワード

頻度分析を見て絞り込み検索

対象の項目を選択し、実行ボタンをクリックしてください。

シソーラス用語(下位語除く) 実 行

1ページあたり 20件 表示

頻度分析結果一覧 頻度分析結果一覧をすべて表示

75件が抽出されました(#1-#75)

#	カウント数	抽出結果
#1	14	ガスタービン
#2	10	エーテル
#3	10	水蒸気改質
#4	10	脂肪族化合物
#5	7	熱回収
#6	4	コジェネレーション
#7	4	内燃機関発電
#8	4	天然ガス
#9	3	再生
#10	3	反応器
#11	3	実証実験
#12	3	熱効率
#13	2	化学平衡
#14	2	廃熱利用
#15	2	熱量
#16	2	燃料
#17	2	発電設備
#18	2	脂肪族アルコール
#19	2	触媒
#20	1	アルカン

[前の20 件] [次の20 件]

東芝様と共同研究している機関

頻度分析を見て絞り込み検索

対象の項目を選択し、実行ボタンをクリックしてください。

所属機関名/団体著者名 実 行

1ページあたり 20件 表示

頻度分析結果一覧 頻度分析結果一覧をすべて表示

6件が抽出されました(#1-#6)

#	カウント数	抽出結果
#1	11	東芝
#2	8	関西電力
#3	5	東芝 電力・社会システム技術開発セ
#4	3	関西電力 総合技術研 電力技術研
#5	1	東芝 火力タービンプラント計画技術部
#6	1	関西電力 研究開発室

[前の20 件] [次の20 件]

東芝様はこの分野を関西電力様と共同研究をしている

文献の共著関係から共同研究の取り組みを把握することができます

日立様でよく出現するキーワード

頻度分析を見て絞り込み検索

対象の項目を選択し、実行ボタンをクリックしてください。

シソーラス用語(下位語除く) 実 行

1ページあたり 20件 表示

頻度分析結果一覧 頻度分析結果一覧をすべて表示

98件が抽出されました(#1-#98)

#	カウント数	抽出結果
#1	12	エーテル
#2	12	ガスタービン
#3	12	脂肪族化合物
#4	10	低NOX燃焼
#5	9	燃焼器
#6	5	内燃機関発電
#7	5	燃焼試験
#8	5	脂肪族アルコール
#9	4	一酸化炭素
#10	4	低NOXバーナー
#11	4	液化天然ガス
#12	4	燃焼効率
#13	4	酸化窒素
#14	3	アルカン
#15	3	バーナー
#16	3	排出基準
#17	3	改質
#18	3	燃焼特性
#19	3	燃焼速度
#20	2	ノズル

[前の20 件] [次の20 件]

日立様と共同研究している機関

頻度分析を見て絞り込み検索

対象の項目を選択し、実行ボタンをクリックしてください。

所属機関名/団体著者名 実 行

1ページあたり 20件 表示

頻度分析結果一覧 頻度分析結果一覧をすべて表示

10件が抽出されました(#1-#10)

#	カウント数	抽出結果
#1	7	日立 電力・電機開研
#2	5	日立
#3	3	中部電力
#4	3	日立造船
#5	2	三井造船
#6	2	中国電力
#7	2	日立 日立研
#8	1	日立造船 技研
#9	1	石油公団
#10	1	石油公団 石油開技セ

[前の20 件] [次の20 件]

日立様はこの分野を中部電力様、
中国電力様と共同研究をしている

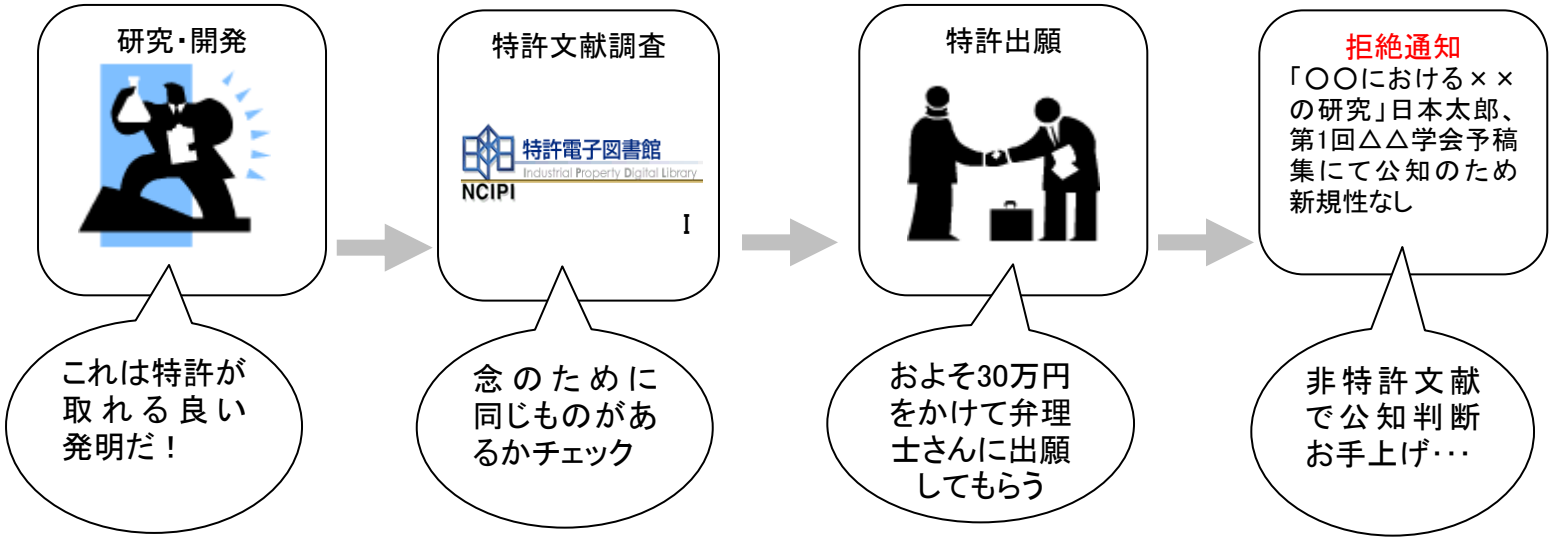
Copyright (C) JST

２．知財部門でのJDreamⅡ活用事例について（JSTPatM）

CopyRight (C) JST

特許出願における非特許文献調査の必要性

- 学術論文、雑誌、図書、各社技報などの「非特許文献」は「特許文献」と同様の公知文献で、先行技術調査や特許無効化調査等では、特許文献同様に調査対象とされることをお薦めします。



特許の異議取り消し案件における非特許文献の関与比率は約3割、また、関与した非特許文献のうち、日本国内で出版された図書・雑誌は約7割強との報告があります※。

※非特許文献調査の実態把握と重要性に関する検証：知財管理、VOL.53,NO.9

CopyRight (C) JST

特許・文献統合ファイル構築の背景

知的財産推進計画2006 (抜粋)

・大学等の利用者が特許公報データに直接アクセスできるシステム（公報データに不変のアドレスが付与されたシステム）を早急に開発し、これを受けて、2006年度中に、大学等における運用を開始するとともに、その普及を促す。
さらに、2007年度の早い時期に特許情報システムと論文情報とを統合した「特許・論文情報統合検索システム（仮称）」を整備する。（総合科学技術会議、文部科学省、経済産業省、関係府省）

知的財産推進計画2007（抜粋）

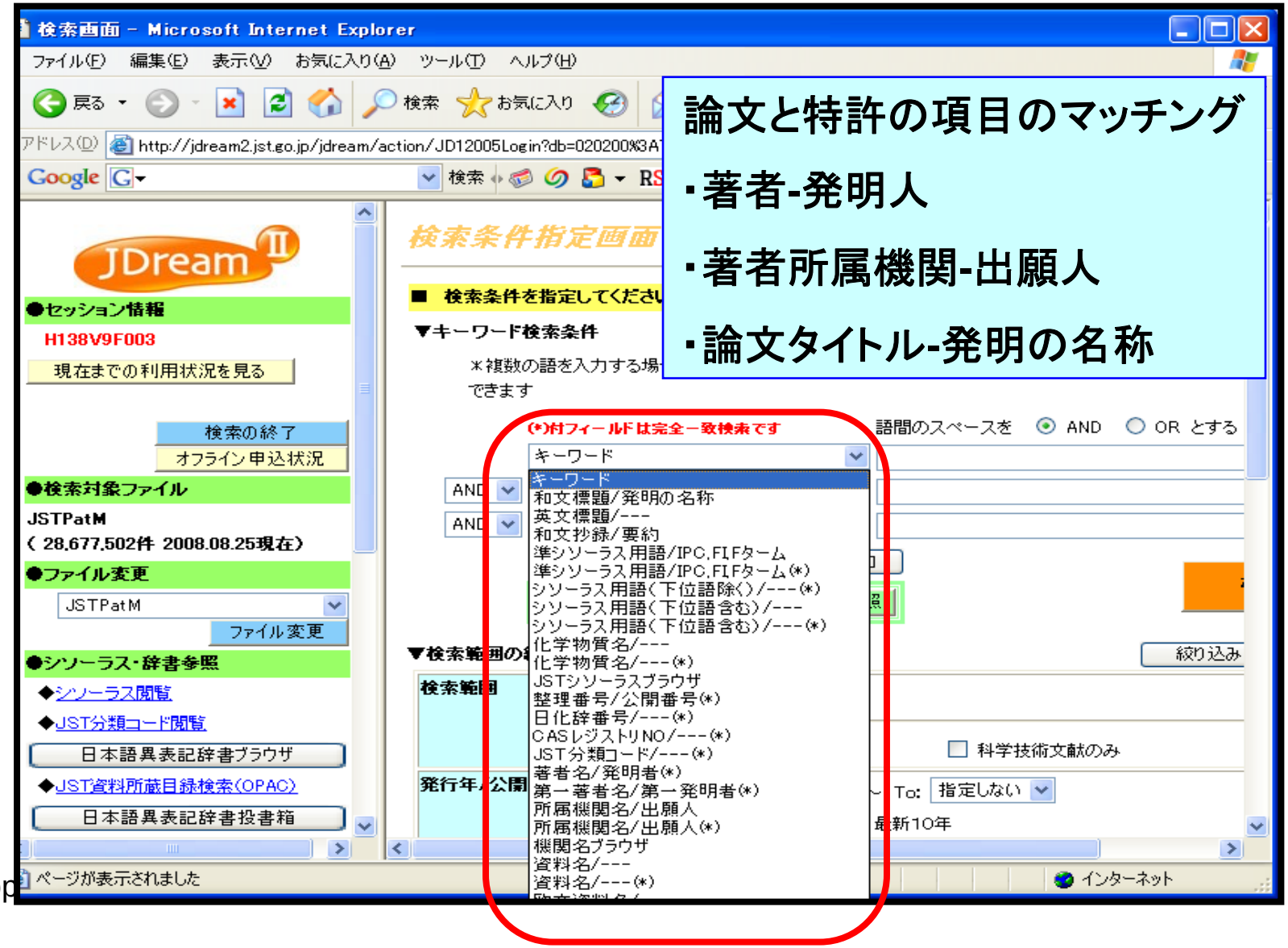
・2007年3月から運用を開始した特許・論文情報統合検索システムについて、2007年度から、その運用状況や研究者のニーズ等を把握し、利便性の向上等のための開発を行う等、必要な措置を講ずる。（総合科学技術会議、文部科学省、経済産業省）

・・大学には部分的に無料で提供

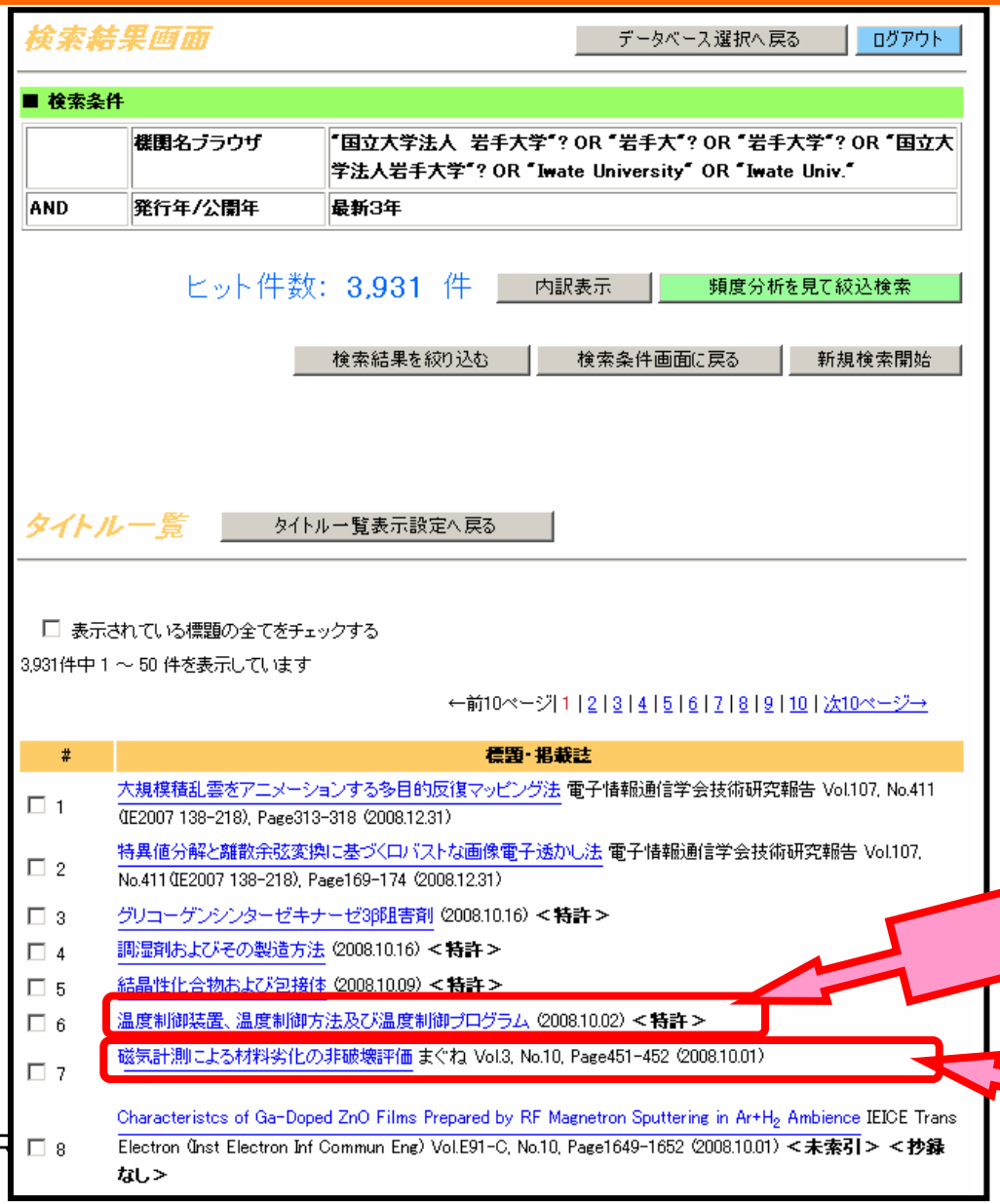
（無料利用の場合は非特許文献（科学技術文献）について書誌までの表示となっており抄録・索引が表示されません）

CopyRight (C) JST

JSTPatMの検索入力画面



岩手大学様の文献と特許を統合検索（直近3年）



検索結果画面

データベース選択へ戻る　ログアウト

■ 検索条件

	機関名ブラウザ	"国立大学法人 岩手大学"? OR "岩手大"? OR "岩手大学"? OR "国立大学法人岩手大学"? OR "Iwate University" OR "Iwate Univ."
AND	発行年/公開年	最新3年

ヒット件数: 3,931 件　内訳表示　頻度分析を見て絞込検索

検索結果を絞り込む　検索条件画面に戻る　新規検索開始

タイトル一覧　タイトル一覧表示設定へ戻る

□ 表示されている標題の全てをチェックする

3,931件中 1 ～ 50 件を表示しています

←前10ページ| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 次10ページ→

#	標題・掲載誌
□ 1	大規模積乱雲をアニメーションする多目的反復マッピング法 電子情報通信学会技術研究報告 Vol.107, No.411 (IE2007 138-218), Page313-318 (2008.12.31)
□ 2	特異値分解と離散余弦変換に基づくロバストな画像電子透かし法 電子情報通信学会技術研究報告 Vol.107, No.411 (IE2007 138-218), Page169-174 (2008.12.31)
□ 3	グリコーゲンシンターゼキナーゼ3β阻害剤 (2008.10.16) ＜特許＞
□ 4	調湿剤およびその製造方法 (2008.10.16) ＜特許＞
□ 5	結晶性化合物および包接体 (2008.10.09) ＜特許＞
□ 6	温度制御装置、温度制御方法及び温度制御プログラム (2008.10.02) ＜特許＞
□ 7	磁気計測による材料劣化の非破壊評価 まぐね Vol.3, No.10, Page451-452 (2008.10.01)
□ 8	Characteristcs of Ga-Doped ZnO Films Prepared by RF Magnetron Sputtering in Ar+H_2 Ambience IEICE Trans Electron (Inst Electron Inf Commun Eng) Vol.E91-C, No.10, Page1649-1652 (2008.10.01) ＜未索引＞ ＜抄録なし＞

特許

文献

CopyR

文献情報の回答表示例

整理番号/公開番号: 08A1004994
和文標題/発明の名称: 磁気計測による材料劣化の非破壊評価
著者名(所属機関)/発明者.(出願人): 荒克之 (岩手大 工)
資料名: まぐね **JST資料番号:** L5842A **ISSN:** 1880-7208
巻号ページ(発行年月日/公開日): Vol.3 No.10 Page.451-452 (2008.10.01)
資料種別: 逐次刊行物(A) **記事区分:** 解説(b2)
発行国/公開国: 日本(JPN) **言語:** 日本語(JA)
抄録/要約: 建造物などの老朽化や経年劣化が進み,その強度の劣化の状況を正しく捉えることが強く望まれている。建造物には鉄鋼が用いられているので,その磁気特性の変化から材料特性の劣化の状況を捉え,機械的強度の劣化の程度を評価できる技術が望まれている。しかし,機械的強度の変化によって磁気特性が変化するが,その逆に磁気特性の変化から機械的強度の変化の程度をすべて把握できるわけではない。そこで,ほかの多くの診断技術分野の人々との協力によって,非破壊による劣化状況の評価法確立に向けた努力が続けられている。
分類コード: HB02030F, WB02020J, WB02030U (620.179:669, 669.017:537.6.03, 669.017:539.4.01)
シソーラス用語: 劣化, 経時変化, 老朽化, 構造物, *磁気的性質, *機械的強度, *非破壊検査, 鋼材

CopyRight (C) JST

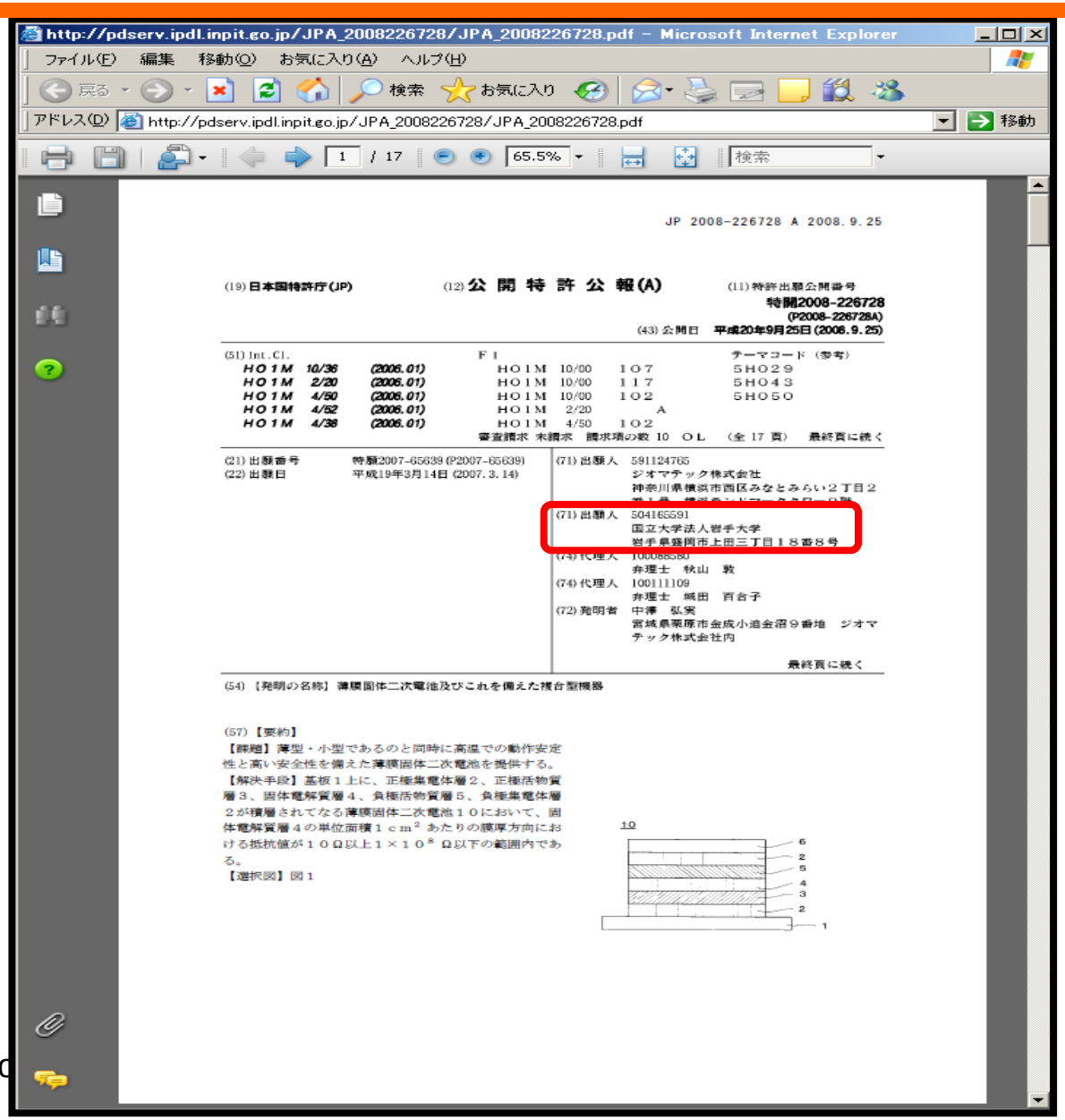
特許情報の回答表示例

整理番号/公開番号: 2008226728
和文標題/発明の名称: 薄膜固体二次電池及びこれを備えた複合型機器
著者名(所属機関)/発明者.(出願人): 中澤 弘実, 佐野 公宏, 阿部 貴志, 馬場 守, (ジオマテック株式会社), (国立大学法人岩手大学)
ISBN/出願番号: 2007065639
巻号ページ(発行年月日/公開日): (2008.09.25)
発行国/公開国: 日本(JPN) **言語:** 日本語(JA)
抄録/要約: 【要約】【課題】薄型・小型であるのと同時に高温での動作安定性と高い安全性を備えた薄膜固体二次電池を提供する。【解決手段】基板1上に、正極集電体層2、正極活物質層3、固体電解質層4、負極活物質層5、負極集電体層2が積層されてなる薄膜固体二次電池10において、固体電解質層4の単位面積1cm^{2}あたりの膜厚方向における抵抗値が10Ω以上1×10^{8}Ω以下の範囲内である。【選択図】図1【特許請求の範囲】【請求項1】基板上に、正極集電体層、正極活物質層、固体電解質層、負極活物質層、負極集電体層が積層されてなる薄膜固体二次電池において、前記固体電解質層の単位面積1cm^{2}あたりの膜厚方向における抵抗値が10Ω以上1×10^{8}Ω以下の範囲内であることを特徴とする薄膜固体二次電池。
準シソーラス用語/IPC,FI,Fターム: IPC=H01M10/36, IPC=H01M2/20, IPC=H01M4/50, IPC=H01M4/52, IPC=H01M4/38, IPC=H01M4/48, FI=H01M10/00,107, FI=H01M10/00,117, FI=H01M10/00,102, FI=H01M2/20A, FI=H01M4/50,102, FI=H01M4/52,102, FI=H01M4/38Z, FI=H01M4/48,101, FI=H01M4/48,102, FI=H01M10/00,103, FT=5H029AJ01, FT=5H029AJ12, FT=5H029AK03, FT=5H029AL02, FT=5H029AL03, FT=5H029AL11, FT=5H029AM12, FT=5H029BJ04, FT=5H029CJ24, FT=5H029DJ02, FT=5H029DJ07, FT=5H029EJ03, FT=5H029EJ06, FT=5H029HJ04, FT=5H029HJ20, FT=5H043AA04, FT=5H043AA05, FT=5H043AA11, FT=5H043BA20, FT=5H043CA08, FT=5H043CA13, FT=5H043FA22, FT=5H043FA23, FT=5H050AA01, FT=5H050AA15, FT=5H050BA17, FT=5H050CA07, FT=5H050CA08, FT=5H050CA09, FT=5H050CB02, FT=5H050CB03, FT=5H050CB11, FT=5H050DA04, FT=5H050GA24

Co

Your Collection　公報固定アドレスサービス(PDF)

公開特許公報にリンク（公報固定アドレスサービス）



JP 2008-226728 A 2008.9.25

(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2008-226728
(P2008-226728A)
(43)公開日　平成20年9月25日(2008.9.25)

(51)Int.Cl.			F I			テーマコード（参考）
H01M	10/36	(2006.01)	H01M	10/00	107	5H029
H01M	2/20	(2006.01)	H01M	10/00	117	5H043
H01M	4/50	(2006.01)	H01M	10/00	102	5H050
H01M	4/52	(2006.01)	H01M	2/20	A	
H01M	4/38	(2006.01)	H01M	4/50	102	

審査請求 未請求　請求項の数 10　OL　（全 17 頁）　最終頁に続く

(21)出願番号　特願2007-65639 (P2007-65639)
(22)出願日　平成19年3月14日 (2007.3.14)

(71)出願人　591124765
ジオマテック株式会社
神奈川県横浜市西区みなとみらい２丁目２
(71)出願人　504165591
国立大学法人岩手大学
岩手県盛岡市上田三丁目１８番８号
(74)代理人　100088580
弁理士　秋山　敦
(74)代理人　100111109
弁理士　城田　百合子
(72)発明者　中澤　弘実
宮城県栗原市金成小迫金沼９番地　ジオマテック株式会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】薄膜固体二次電池及びこれを備えた複合型機器

(57)【要約】
【課題】薄型・小型であるのと同時に高温での動作安定性と高い安全性を備えた薄膜固体二次電池を提供する。
【解決手段】基板１上に、正極集電体層２、正極活物質層３、固体電解質層４、負極活物質層５、負極集電体層２が積層されてなる薄膜固体二次電池１０において、固体電解質層４の単位面積１ｃｍ^{2}あたりの膜厚方向における抵抗値が１０Ω以上１×１０^{8}Ω以下の範囲内である。
【選択図】図１

ご利用上の注意事項

- ブラウザの戻るボタンは使用しないでください。
  画面の移動には、JDream画面上にある「データベース画面へ戻る」、「検索条件入力へ戻る」ボタン等で移動してください。

CopyRight (C) JST

お問い合わせ先

独立行政法人科学技術振興機構
情報提供部　営業推進課　ヘルプデスク

お問い合わせフォーム　：
https://pr.jst.go.jp/jdream2/form.html
TEL：　0120-521-022
FAX：　0120-521-033

CopyRight (C) JST